



東京証券取引所 市場第一部
証券コード 6926

2009年3月期(2008年度) 決算説明会資料

2009年6月2日(火)

岡谷電機産業株式会社

〔 〕 2009年3月期
(2008年度)決算説明

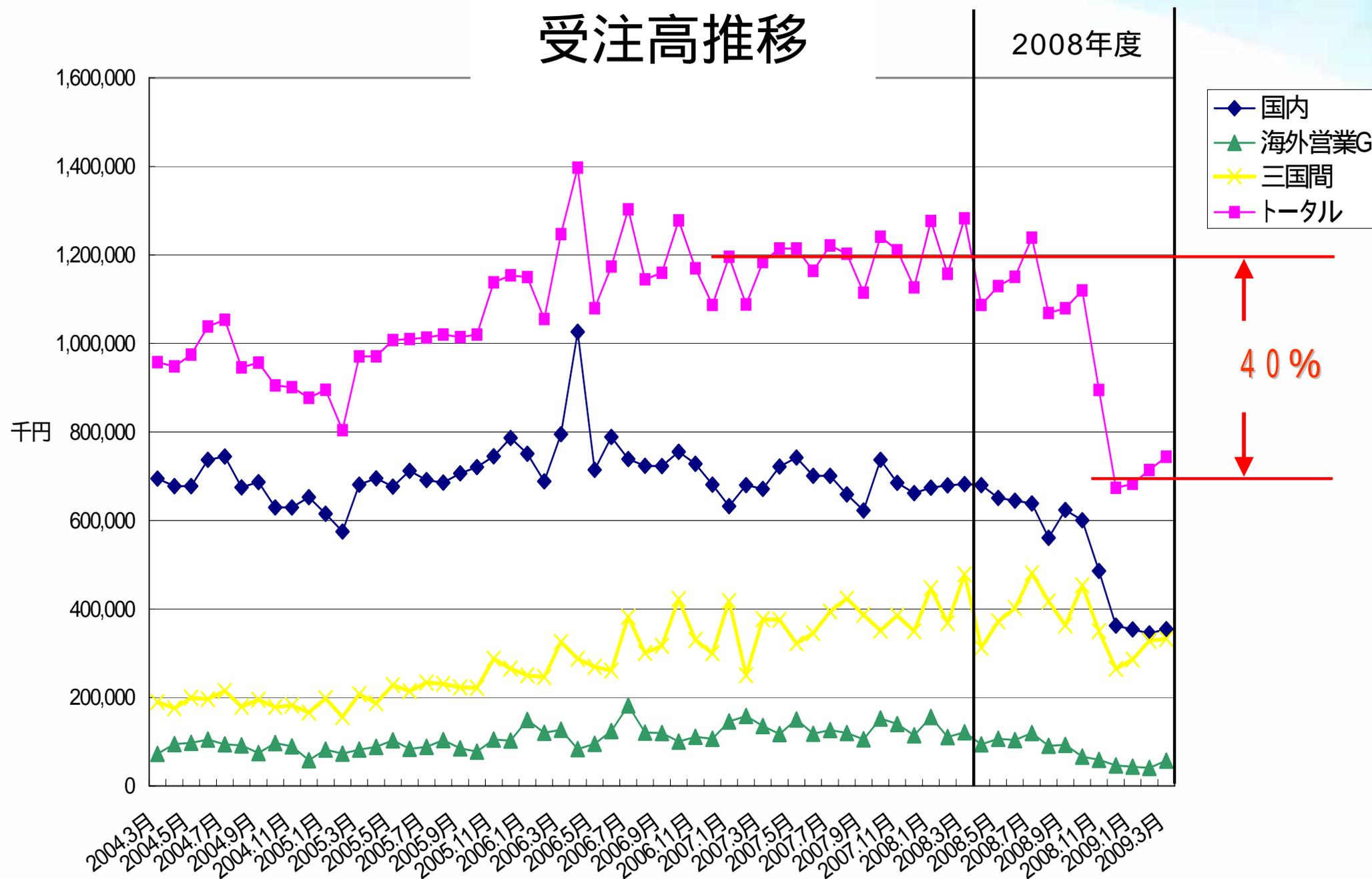
2009年3月期 業績

業績（連結）

（単位：百万円、％）

	08/3期	09/3期 期初計画	09/3期	前期 増減	前期 増減率
受注高	16,274		12,726	3,548	21.8
売上高	15,972	17,000	13,368	2,604	16.3
ノイズ	8,959	9,580	7,310	1,649	18.4
サージ	2,956	3,100	2,377	579	19.6
表示	3,714	3,820	3,287	427	11.5
センサー	343	500	394	51	14.9
売上総利益	4,111		2,884	1,227	29.8
売上総利益率	25.7		21.6	4.1	
販売費及び一般管理費	2,518		2,403	115	4.6
営業利益	1,592	1,600	480	1,112	69.8
営業利益率	10.0	9.4	3.6	6.4	
営業外損益	134		16	118	
経常利益	1,458	1,500	464	994	68.2
特別損益	32		213	245	
当期純利益	900	900	150	750	83.3

受注高推移



2009年3月期 業績

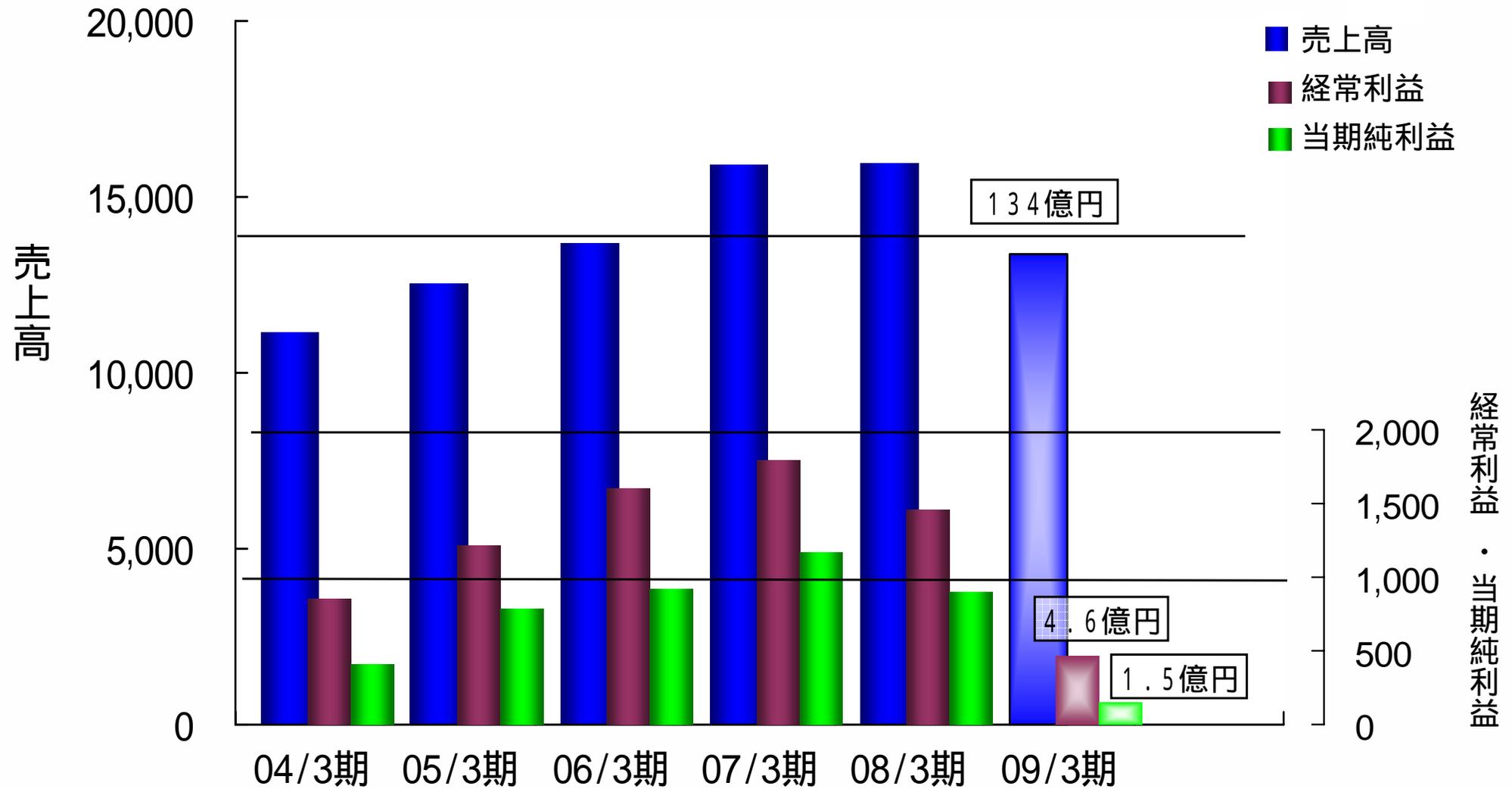
業績（連結）

（単位：百万円、％）

	08/3期	09/3期 期初計画	09/3期	前期 増減	前期 増減率
受注高	16,274		12,726	3,548	21.8
売上高	15,972	17,000	13,368	2,604	16.3
ノイズ	8,959	9,580	7,310	1,649	18.4
サージ	2,956	3,100	2,377	579	19.6
表示	3,714	3,820	3,287	427	11.5
センサー	343	500	394	51	14.9
売上総利益	4,111		2,884	1,227	29.8
売上総利益率	25.7		21.6	4.1	
販売費及び一般管理費	2,518		2,403	115	4.6
営業利益	1,592	1,600	480	1,112	69.8
営業利益率	10.0	9.4	3.6	6.4	
営業外損益	134		16	118	
経常利益	1,458	1,500	464	994	68.2
特別損益	32		213	245	
当期純利益	900	900	150	750	83.3

売上高推移

(単位:百万円)



ノイズ対策市場の現状

家電製品

40% 45%

- ・テレビ
- ・エアコン
- ・空気清浄機
- ・冷蔵庫
- ・給湯器
- ・洗濯機
- ・IH調理器 等

30% 25%

産業機器

- ・工作機器
- ・半導体装置
- ・ロボット
- ・医療機器 等

ノイズ
対策

事務機

- ・電話
- ・ファクシミリ
- ・パソコン
- ・複合複写機
- ・プロジェクター
- ・デジタルカメラ 等

30%

電力・車両関連

- ・自動車
- ・電車
- ・E c o発電 等

サージ対策市場の現状

産業機器

- ・工作機器、インバータ電源
- ・半導体製造装置
- ・ロボット ・医療機器等

25% 20%

家電製品

- ・PDP-TV, LCD-TV, HDレコーダ
- ・エアコン ・冷蔵庫
- ・給湯器 ・洗濯機
- ・IH調理器 等

30% 40%

サージ 対策

建物

- ・建築物全体(幹線/分岐回路)
- ・保護キュービクル
- ・電灯分電盤 動力制御盤

事務機

- ・電話 ・ファクシミリ
- ・パソコン
- ・複合複写機
- ・プロジェクター等

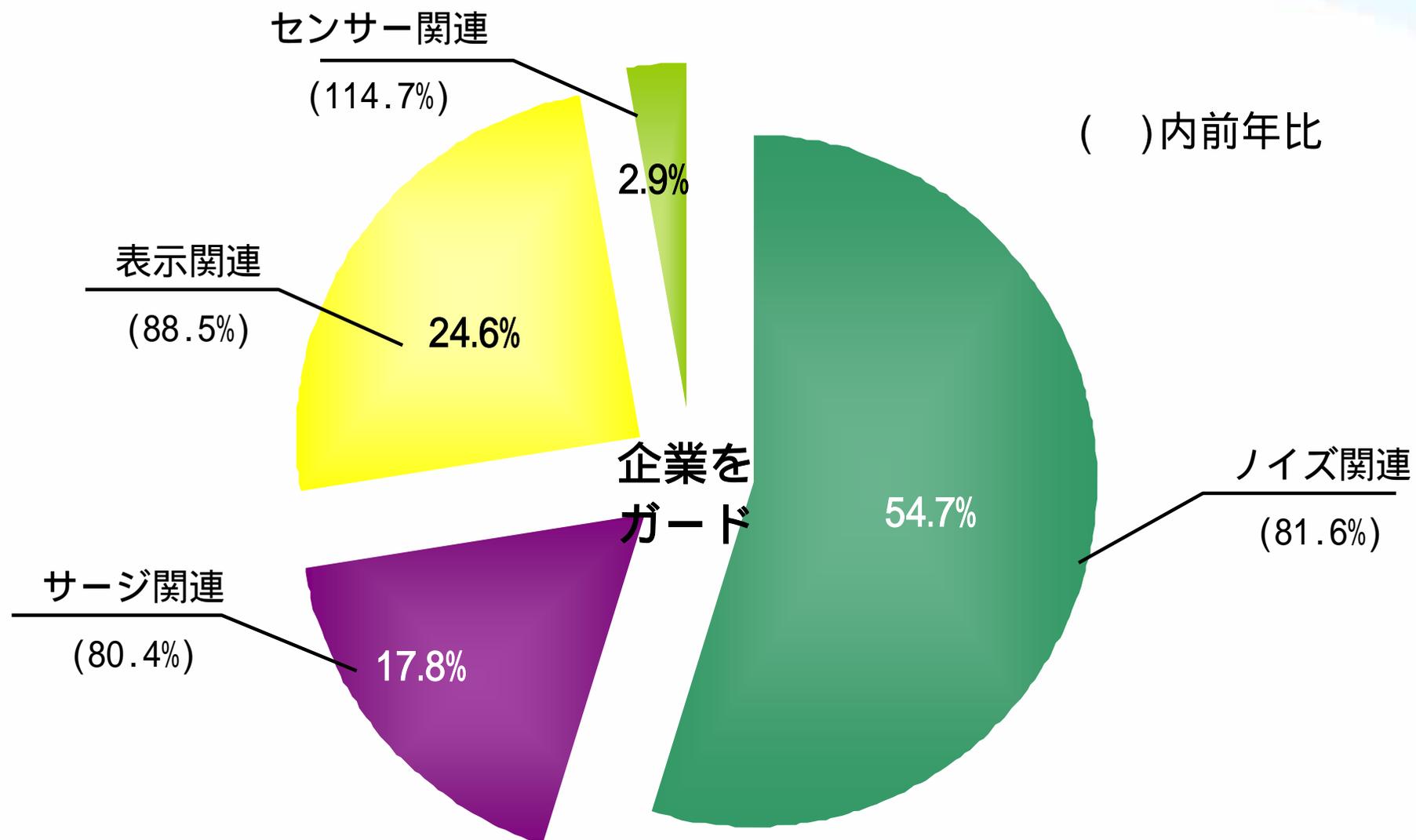
25% 20%

通信関連

- ・携帯電話基地局
- ・モデム ・スプリッター
- ・セキュリティ装置
- ・カーナビ ・電話交換機・PBX

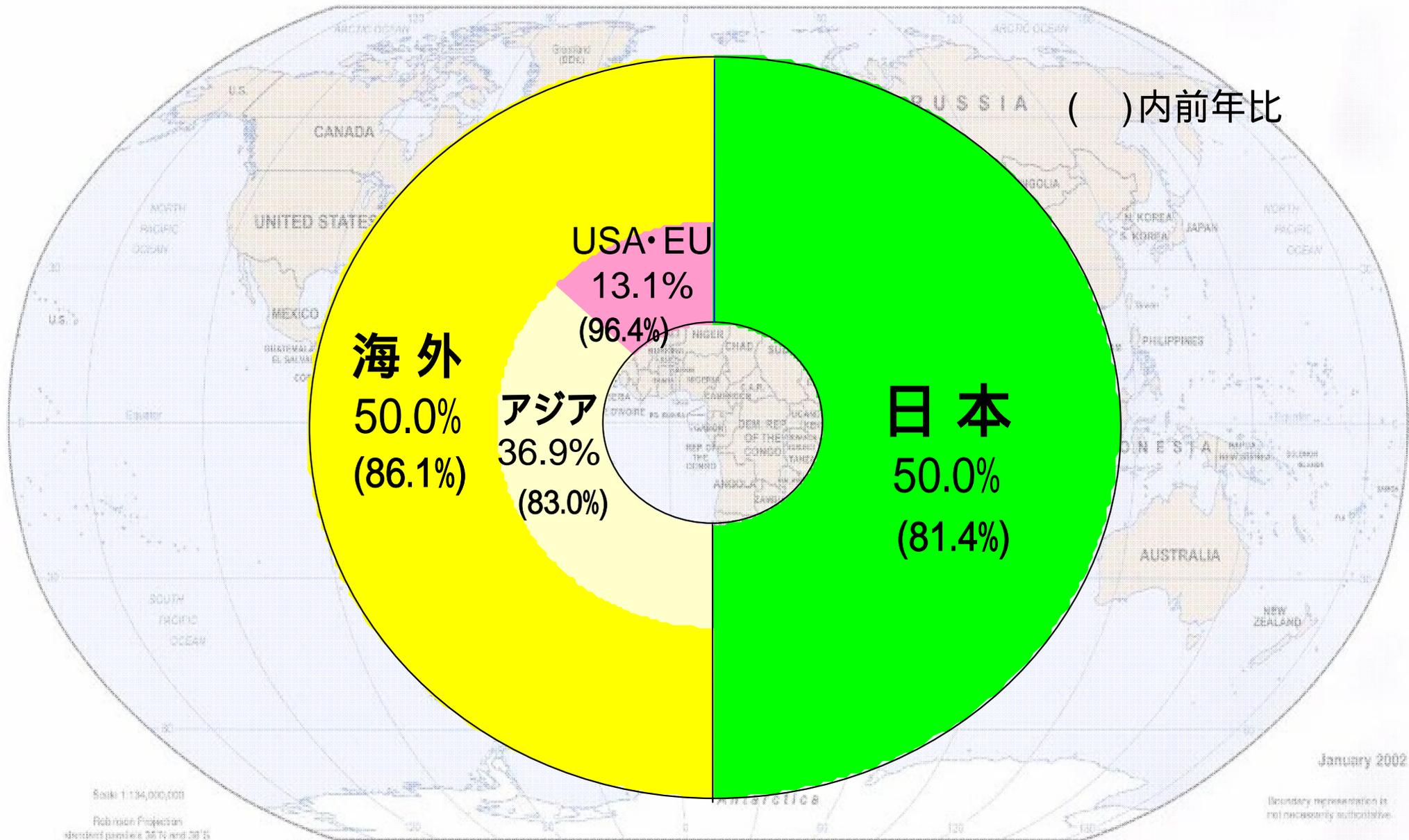
20%

事業別売上高



(売上高構成比 09/3期)

地域別売上高



(売上高構成比 09/3期)

January 2002

Boundary representation is not necessarily authoritative.

80280441 (R00362) 12-01

販売・生産活動

1. 受注動向

- ・国内 4～10月は前年比 13%、11～12月は 40%、
1～3月は 47%

(OKAYAの強い工作機・半導体装置業界の大幅減 (前年比 85%))

- ・海外
 - ・アジア … 11月まで絶好調 12～3月は 50%
(主としてUSA・EU向事務機・家電・通信機器輸出がストップ + 在庫調整)
 - ・USA … 医療機器及び車輻用表示器は、好調に推移

2. 生産状況

- ・国内 受注減に伴い、国内工場は、11月よりレイオフ実施
- ・海外 中国工場 … 11月まで納期遅れ多発

24Hr/日、29日/月稼動 高い残業・休日出勤手当支給

スリランカ工場 … 9月より稼動 3月にコンデンサ500万個/月体制

- 3. 材料状況 原油・非鉄金属等の価格は、下落傾向に入ったが、
OKAYAの購入する材料ベースでは、12月頃から下りはじめた。

2009年3月期 業績



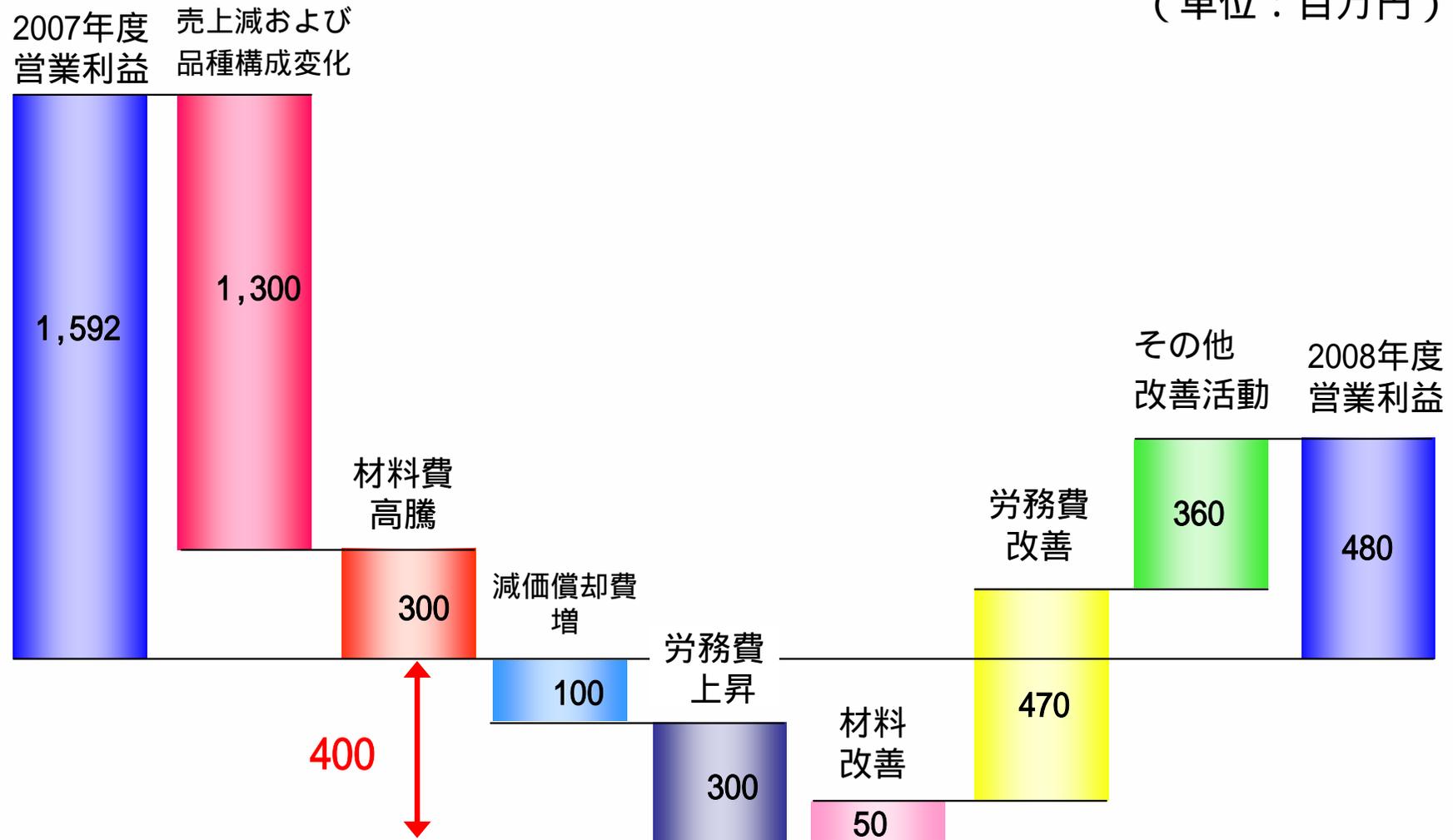
業績（連結）

（単位：百万円、％）

	08/3期	09/3期 期初計画	09/3期	前期 増減	前期 増減率
受注高	16,274		12,726	3,548	21.8
売上高	15,972	17,000	13,368	2,604	16.3
ノイズ	8,959	9,580	7,310	1,649	18.4
サージ	2,956	3,100	2,377	579	19.6
表示	3,714	3,820	3,287	427	11.5
センサー	343	500	394	51	14.9
売上総利益	4,111		2,884	1,227	29.8
売上総利益率	25.7		21.6	4.1	
販売費及び一般管理費	2,518		2,403	115	4.6
営業利益	1,592	1,600	480	1,112	69.8
営業利益率	10.0	9.4	3.6	6.4	
営業外損益	134		16	118	
経常利益	1,458	1,500	464	994	68.2
特別損益	32		213	245	
当期純利益	900	900	150	750	83.3

●利益（原価）の分析グラフ

（単位：百万円）



2009年3月期 業績

業績（連結）

（単位：百万円、％）

	08/3期	09/3期 期初計画	09/3期	前期 増減	前期 増減率
受注高	16,274		12,726	3,548	21.8
売上高	15,972	17,000	13,368	2,604	16.3
ノイズ	8,959	9,580	7,310	1,649	18.4
サージ	2,956	3,100	2,377	579	19.6
表示	3,714	3,820	3,287	427	11.5
センサー	343	500	394	51	14.9
売上総利益	4,111		2,884	1,227	29.8
売上総利益率	25.7		21.6	4.1	
販売費及び一般管理費	2,518		2,403	115	4.6
営業利益	1,592	1,600	480	1,112	69.8
営業利益率	10.0	9.4	3.6	6.4	
営業外損益	134		16	118	
経常利益	1,458	1,500	464	994	68.2
特別損益	32		213	245	
当期純利益	900	900	150	750	83.3

有価証券
評価損
約 2 億円

2009年3月期 財務状況（連結）



（単位：百万円）

	08/3期	09/3期	増減
流動資産	6,365	5,167	1,198
現金預金	913	637	276
受取手形・売掛金	3,623	2,741	882
たな卸資産	1,325	1,327	2
その他	502	460	42
固定資産	6,255	6,004	251
有形固定資産	3,297	3,654	357
建物・構築物	922	1,064	142
機械装置・運搬具	933	1,228	295
工具器具・備品	162	162	0
土地	1,104	1,103	1
建設仮勘定	174	96	78
無形固定資産	124	100	24
投資その他の資産	2,832	2,249	583
流動負債	3,529	2,810	719
支払手形・買掛金	1,467	888	579
短期借入金	1,044	1,173	129
未払法人税等	133	59	74
その他	884	688	196
固定負債	1,308	1,187	121
長期借入金	419	313	106
その他	888	874	14
純資産（資本）	7,783	7,174	609
総資産	12,620	11,171	1,449

・売上減少による

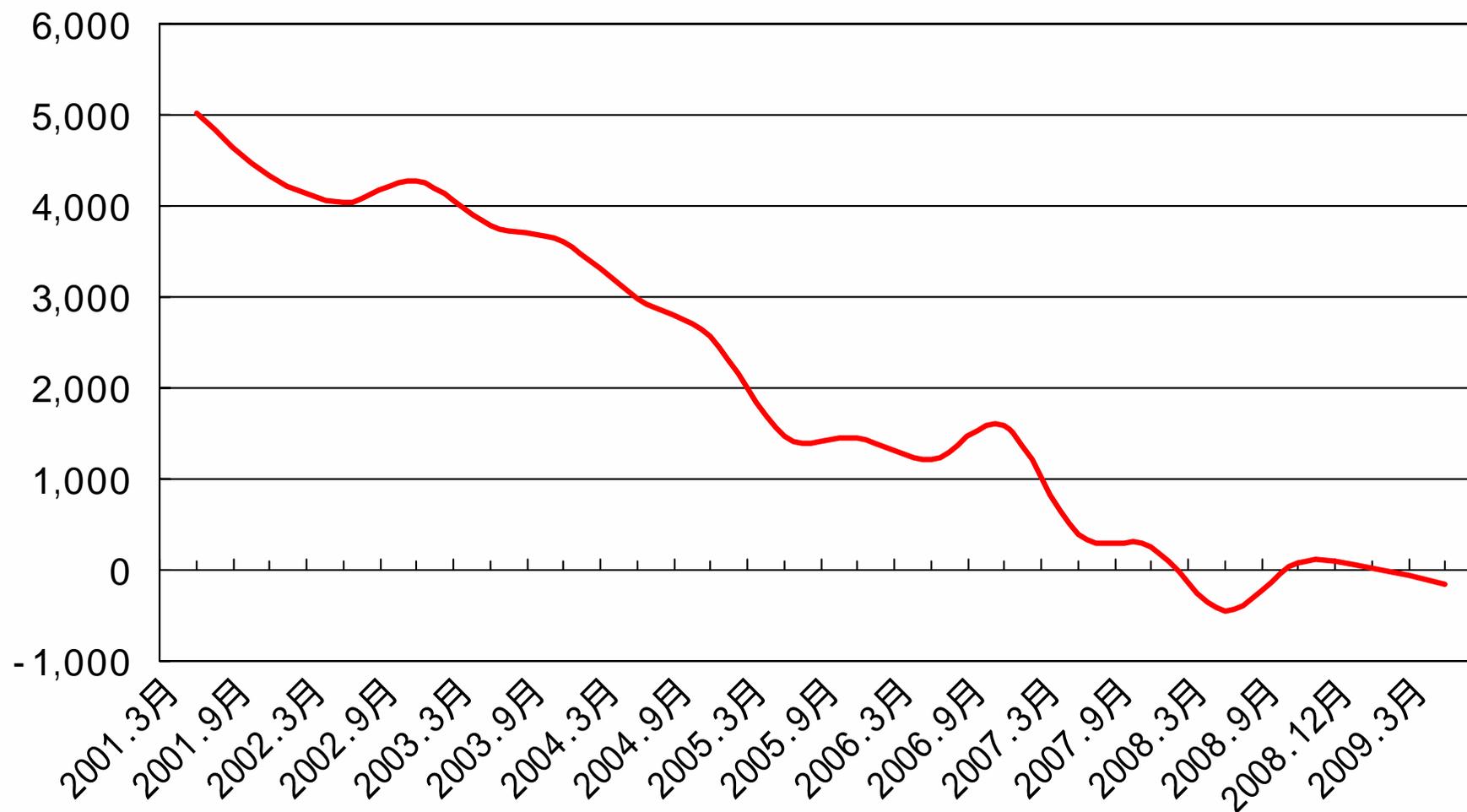
・たな卸保有月数悪化
1.0 1.6

・全有価証券の評価減
6.8億円

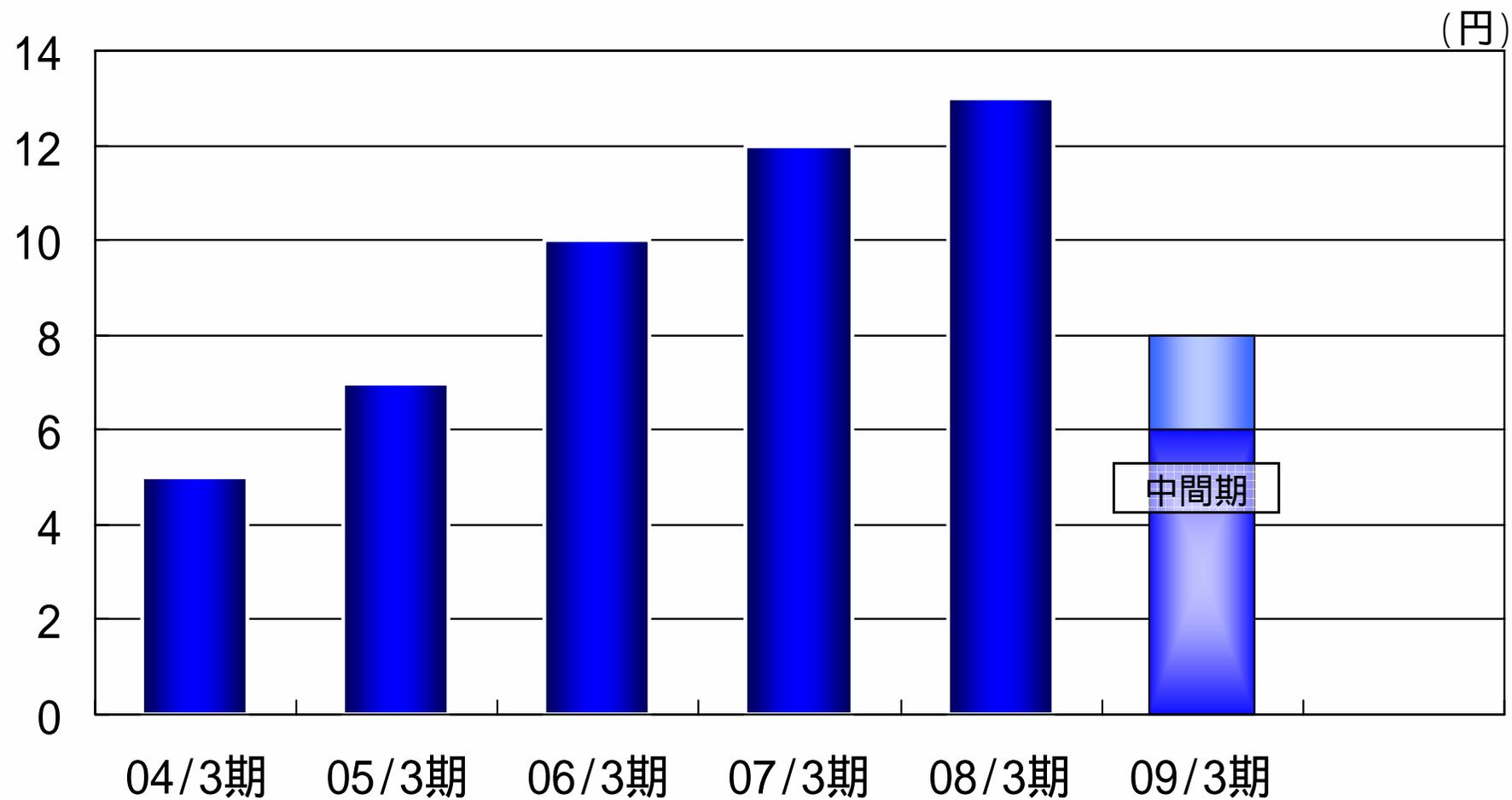
・自己資本比率が改善
57.7% 61.7% 64.2%
(07/3) (08/3) (09/3)

有利子負債の推移 ~ 健全な経営体質

(百万円)



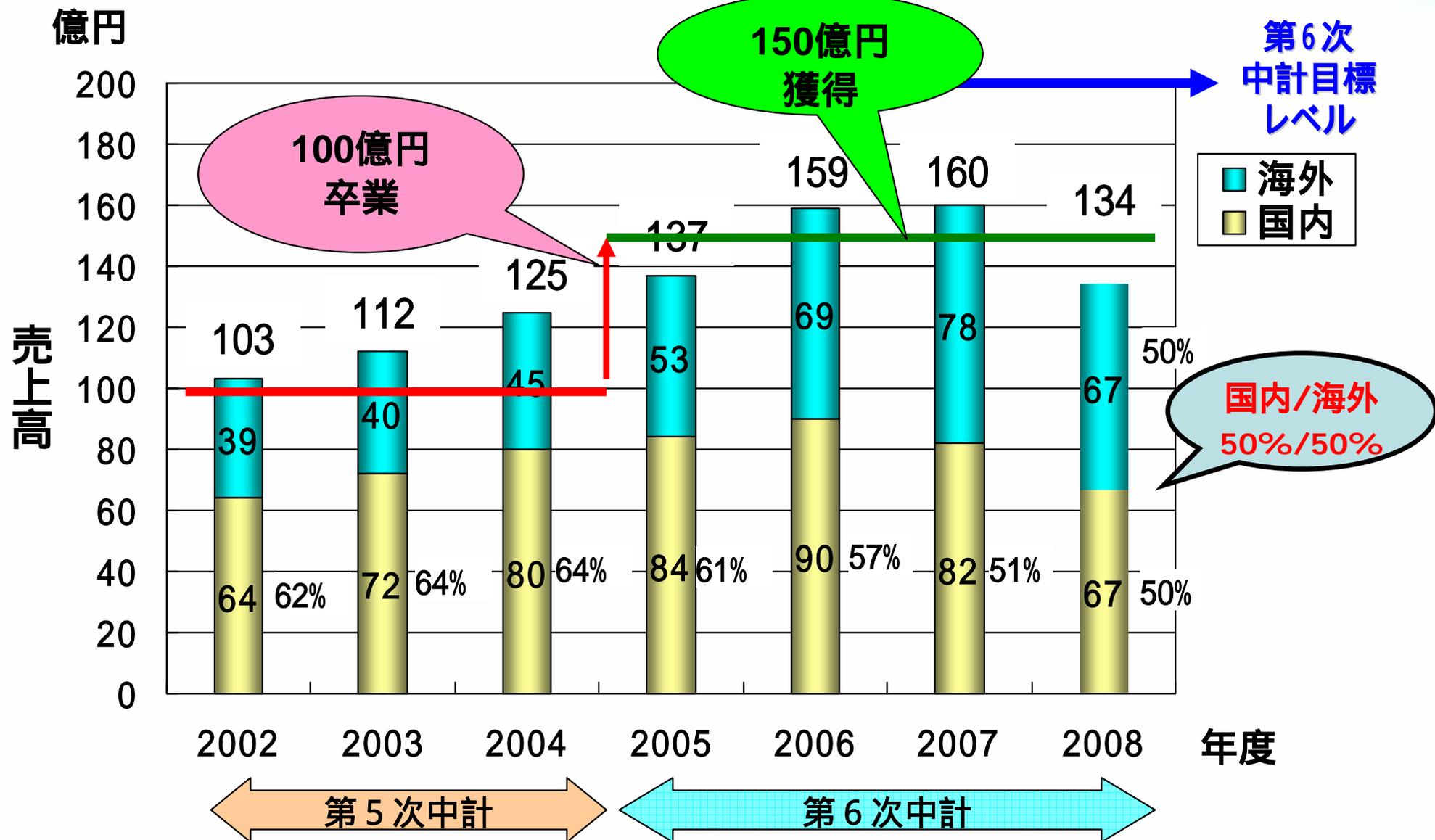
配当の推移



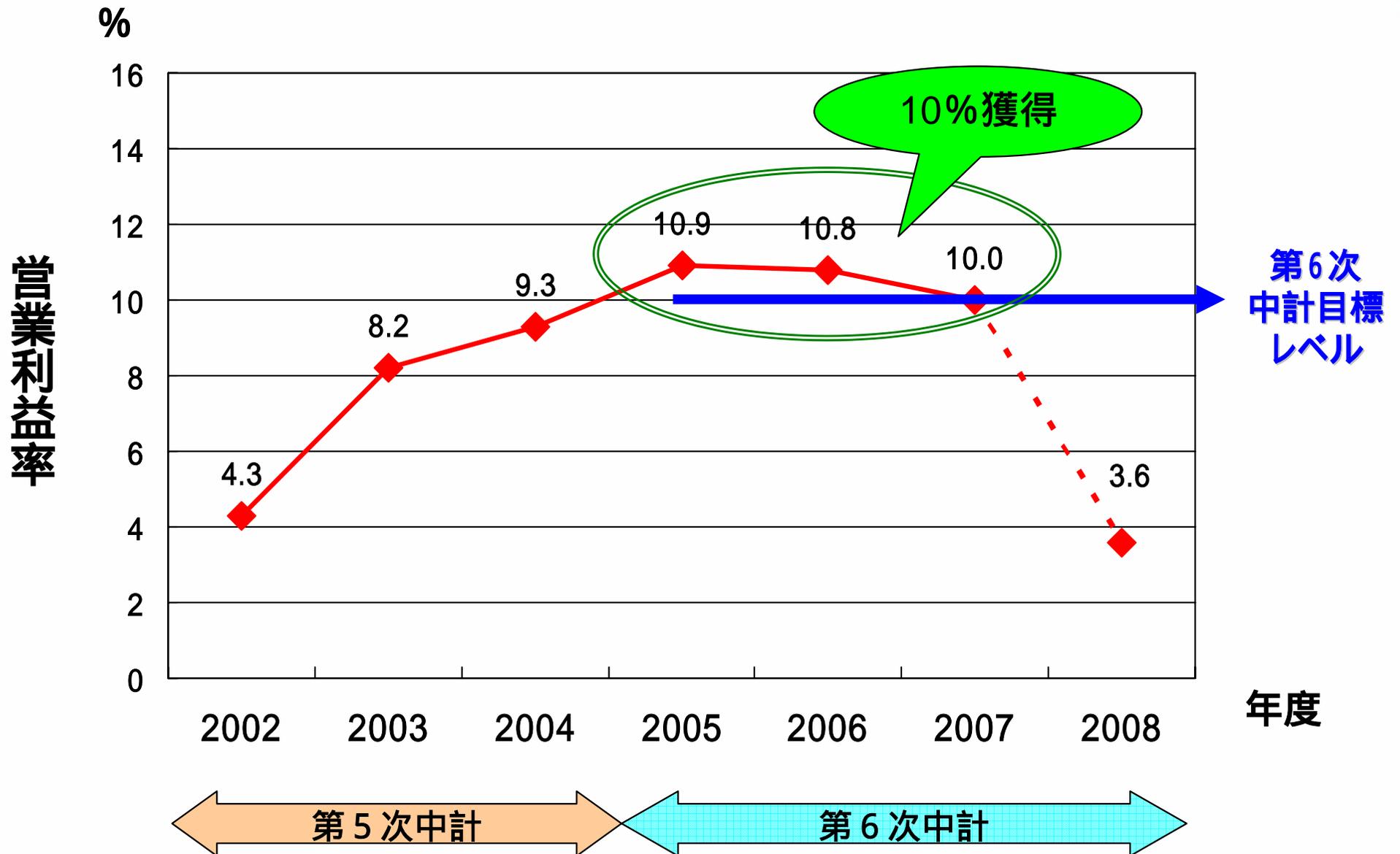
() 第7次中期経営計画

(2009年4月 ~ 2012年3月 (3年計画))

連結売上高

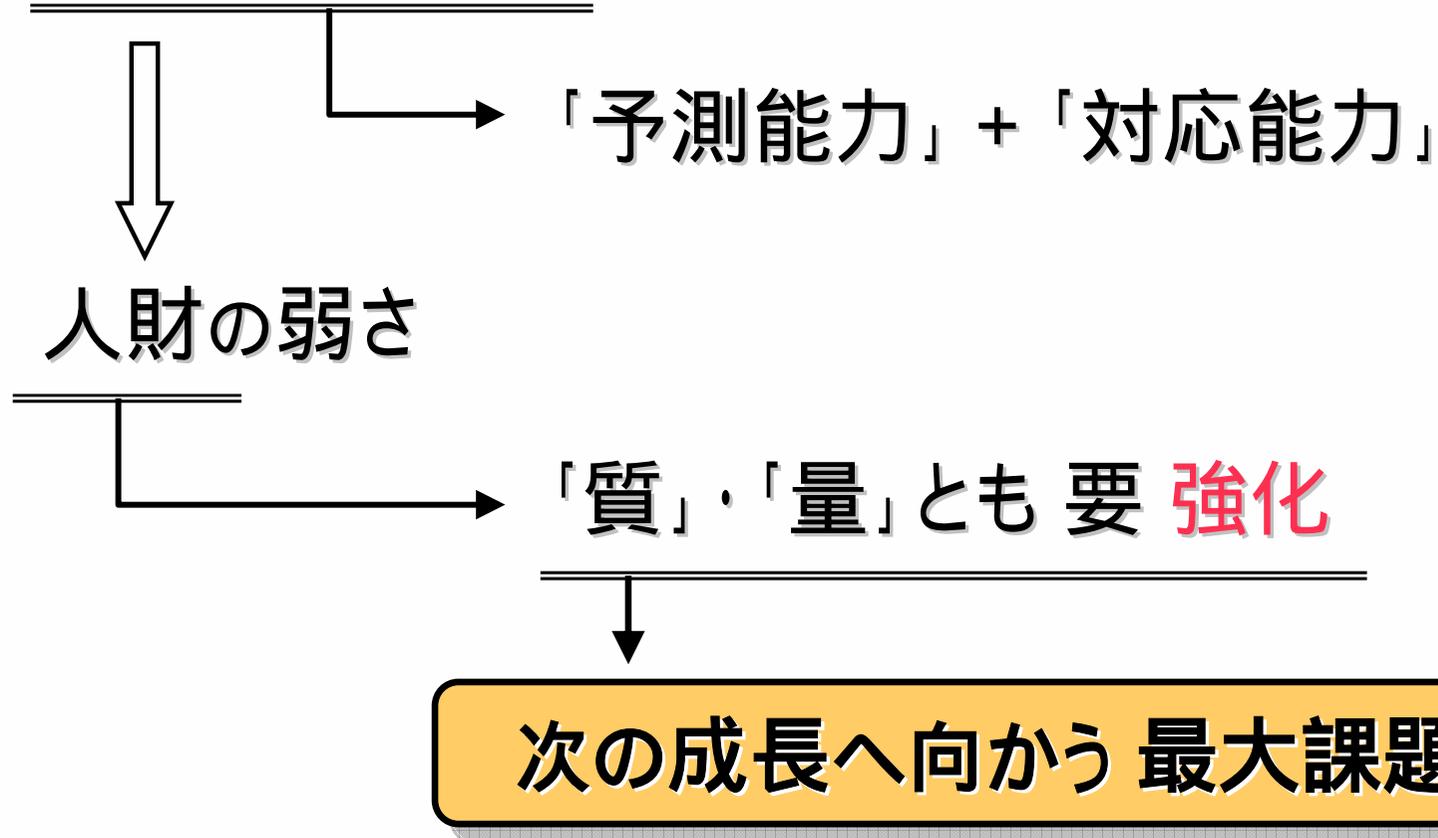


連結営業利益率



未達要因

【 】 変化への対応力の弱さ (リスク管理)



[] Customer *Trust* OKAYAの実現

(顧客に信頼して頂けるOKAYA)

「満足」から「感動」そして更に「安心」へ 結果「信頼」獲得へ

「安心」

10年後も勝ち続けるOKAYA 「継続」+「ひと味違うOKAYA」

「OKAYA」
ブランドの
信頼性

信頼 = 変化への対応(QCDSともに安定供給)

・緊急対応

= リスクヘッジ (経済変動対応・クレーム対応・地震・災害対応)

・OKAYAはひとつ

= 世界のどこからも同じ品質の同じサービスの提供

道具: ISO9001 + ISO14001

第7次中計スローガン

10S - OKAYA

S = 強さ (Strong)

10年後も勝ち続ける 力をつくる

営業利益率10%を継続する 力をつくる

「10S - OKAYA」には、「**人力強化**」が最大テーマとなる



強い人集団

(1) 現行社員全員の意識改革とレベルアップ(教育政策)

Key Word : やる気づくり + **鍛える**

<やる気の無い者をいくら鍛えても効果無し>

(2) 良質人財の採用(労務政策)

Key Word : **ハンティング**

<内部に居るならよし、居ないなら見つけてくる>

(3) 適正な人財配置と評価制度(人事政策)

Key Word : **脱「浪花節人事」**

<年齢でもなく、好き嫌いでもなく、価値の高低>

数値目標 = 営業利益率10%以上

3年後の姿(力)

- (1) 連結売上高成長率 …………… 毎年成長し、
再度200億円をめざす
- (2) 実質国内・海外売上比率 … 50 / 50%
- (3) 売上 / 総利益率 …………… 28%以上
- (4) 販売・管理費率 …………… 16%以下
- (5) **人財強化費率** …………… **2%**

連結営業利益率…………… 10%

まとめ

1. **志** (目標・夢) を明確に持って **強い信念** で仕事をすれば、結果はついてくる。 (第5次・第6次で実証)
2. 2008年度 世界不況に突入
一度立ち止まって、土台から強化し、
次の成長に備えるチャンスを得いた
3. 体質強化 次に向けての **力** をつける
4. 企業(会社)は **人なり** である
 - ・ 人が変われば、会社も変わる
人が成長すれば、会社も成長する
 - ・ 人が変わらなければ会社は下降する

第7次中計は **「人づくり」** を中心とする

〔 〕 2010年3月期
(2009年度)業績見通し

2009年度の経済環境

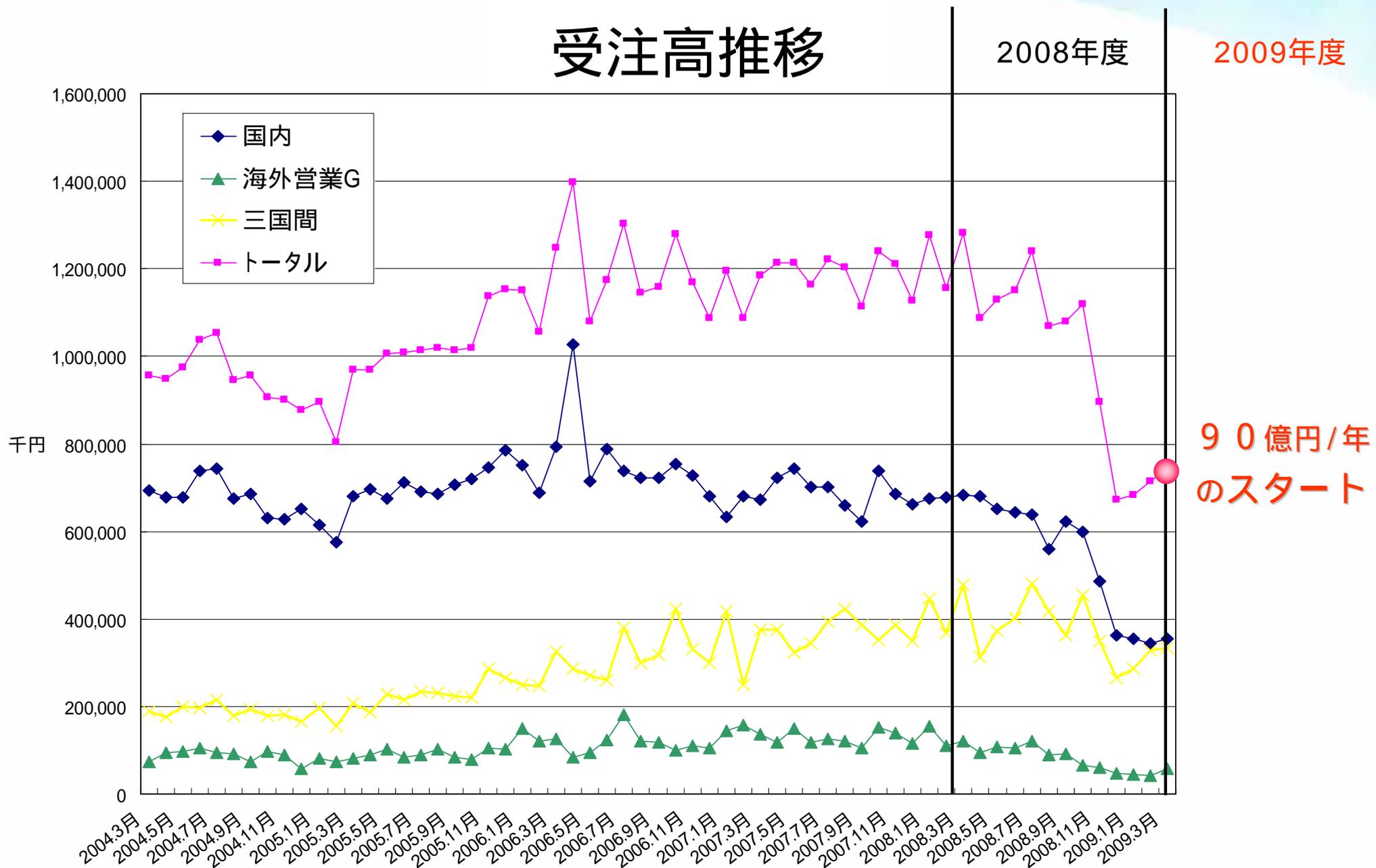
- (1) 国内動向 … 工作機・半導体装置の業界は、今期の回復は見込めない。
期待できる業界は「省エネ」に関する業界。
- (2) 海外動向 … アジア 在庫調整終了。
部分的にAir con、パソコン、TV等立ち上がる。
中国内需拡大
USA・EU 大きな変化はない
- (3) 部材 …… 「金属材料」「プラスチック材料」いずれも値下がり基調。
- (4) 中国の労務事情
- ・ 中国ローカル工場は忙しく人気(残業多い)
 - ・ 輸出工場は残業も少なく、入社応募が少ない
(残業を入れる労務政策要)
 - ・ 農村政策の強化で故郷へ戻る人も増えている

2009年度 為替予算レート

2008年度レート

- 1 US \$ = 90円 (100円)
- 1 HK \$ = 12円 (13円)
- 1 S \$ = 60円 (72円)
- 1 ユーロ = 120円 (150円)

受注高推移



90億円/年のスタート

2010年3月期 業績見通し

業績（連結）

（単位：百万円、％）

	09/3期	10/3期 (計画)	増減	増減率
売上高	13,369	10,000	3,369	25.2 %
ノイズ	7,310	5,400	1,910	26.1 %
サージ	2,377	1,750	628	26.4 %
表示	3,287	2,500	790	24.0 %
センサー	394	350	41	10.5 %
営業利益	480	50	430	89.6 %
営業利益率	3.6	0.5	3.1	—
経常利益	464	50	414	89.2 %
当期純利益	150	30	120	80.0 %

受注確保に向けて

- (1) 国内受注・・・ Key Wordは「**省エネ**」
“Eco発電” “LED照明”を中心に展開
交通関連の表示 車両搭載・駅舎・空港等
- (2) 海外受注・・・ 中国内需拡大策 中国富豪層向機器(ローカルユーザ拡大)
中国 Air con省エネ法令化 **インバータ化**
- (3) 雷サージ被害が増加(国内外)
電力・通信等業界(半官半民)へ参入
表面実装型RHCAを前面に出して、拡販
- (4) 営業体制強化・・・「地域営業制」 「**事業営業制**」
事業戦略を明確にした**戦略営業**をめざす
「**メーカー営業**」の意識強化
W-Wの**一環営業体制**をめざす

生産技術体制強化

- (1) 中国工場・・・「人海生産」 「省人化(主として機械化)生産へ」
 スリランカ工場・・・コンデンサ
 「500万本/月」 「1000万本/月」 「2000万本/月」
- (2) 部材・・・「値上がりした分を戻す」+「技術的部材改善」
 を強力に実施
 ・「部材の2次加工」内製化(コスト・納期・棚卸改善)
- (3) 技術強化策
- | | |
|--------|------------------------------------|
| 商品化技術 | 「長期テーマ」と「短期テーマ」に部門を分け、
専任化 |
| 材料開発技術 | 部材を技術的に、改革していく(新設) |
| 生産技術 | 「品質づくりの生産技術」と
「工程改善の生産技術」に分けて推進 |

2009年度 投資計画

1. 増産投資 110 百万円

2. 省力化投資 80 百万円

3. 品質改善投資 30 百万円

4. 保守・保全投資 60 百万円

計 280 百万円

・ **開発投資** 300 百万円

2010年3月期 業績見通し

業績（連結）

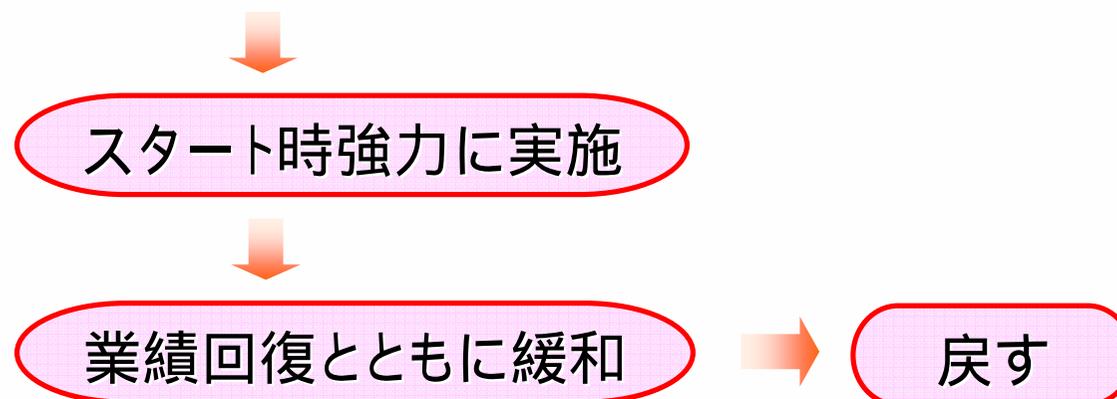
（単位：百万円、％）

	09/3期	10/3期 (計画)	増減	増減率
売上高	13,369	10,000	3,369	25.2 %
ノイズ	7,310	5,400	1,910	26.1 %
サージ	2,377	1,750	628	26.4 %
表示	3,287	2,500	790	24.0 %
センサー	394	350	41	10.5 %
営業利益	480	50	430	89.6 %
営業利益率	3.6	0.5	3.1	—
経常利益	464	50	414	89.2 %
当期純利益	150	30	120	80.0 %

営業利益

- (1) 4月より、
連結売上 90億円/年 (7.5億円/月) ペースでスタート
 この状況で営業利益 ± 0 (損益分岐点) でスタートする

- (2) 施策 …… 部材の値下げ / 作業改善 (省人化)
 費用の削減 (残業・出張・経費等)
 設備投資の抑制 (工程改善投資は積極的に)
 ワークシェアリング的リストラ実施



配 当

- ・ 中間配当 …… 「なし」
- ・ 期末配当 …… 「未定」

現在、2009年度の市場動向が予測できない為、
期末配当は「未定」とさせていただきます。
なお、市場動向が予測でき次第、発表させていただきます。

ご清聴ありがとうございました

今後とも、ご支援のほどよろしくお願いいたします